

2022年4月20日

関係各大学長
関係各大学大学院研究科長
関係各大学学部長 殿
関係各機関の長

国立大学法人お茶の水女子大学長
佐々木 泰子（公印省略）

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本学では、下記のとおり異文化間教育学、多文化共生論分野の教員を公募いたします。
つきましては、貴学・機関関係者及び関係諸方面にご周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしく
お取り計らいくださいますようお願いいたします。

敬具

記

1. 職名及び人員 教授 (Professor)、准教授 (Associate Professor) 又は講師 (Lecturer) 1名
(常勤、年俸制。ただし講師の場合には任期5年で任期途中でテニユア審査を実施)
2. 所 属 お茶の水女子大学 基幹研究院 人文科学系
3. 勤務場所 お茶の水女子大学
東京都文京区大塚2丁目1番1号
最寄り駅：東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅又は有楽町線護国寺駅から徒歩7分
4. 専門分野 異文化間教育学、多文化間交流論・多文化共生論、留学生教育
5. 主な担当科目 (大学院) 異文化間コミュニケーション特論・同演習 (日本語教育コース専門科目)
(学 部) 教養教育科目 (リベラルアーツ)
多文化共生論、多文化間交流論、文化と人間関係、多文化交流実習 IV
(グローバル文化学環科目)
異文化間教育学演習 (日本語教育副プログラム科目)
日本語演習、日本事情演習 (外国人留学生特別科目)
(国際教育センター) 特設日本語
6. 職務内容 (1) 専門分野における教育・研究及び社会貢献
(2) 国際教育センターの業務
(3) 大学における管理運営業務
7. 応募資格 (1) 博士の学位を有する方、2023年3月31日までに取得見込みの方、又は博士の学位を
有しない場合は博士相当の研究業績に加えて博士論文の指導経験のある方
(2) 大学院の授業担当、研究指導 (研究指導補助) ができる方
(3) 日本語教師として教育現場での経験がある方
(4) 専門分野に関する教育及び研究の十分な経験と実績を有する方
(5) リベラルアーツの精神を有し、それを教育として実践できる方
(6) できれば、英語でも授業のできる方
8. 採用予定日 2023年4月1日以降手続き完了日 (可能な限り早い時期)
講師の場合、任用期間は、手続き完了日から5年 (任期途中でテニユア審査を実施する。)
ただし、採用日の前に本学と雇用契約があった者については、国立大学法人お茶の水女子大
学職員就業規則第4条第4項の規定に基づき年俸制を適用して雇用する教員の就業に関する
規則 (以下「年俸制適用教員の就業に関する規則」という) により、直近の有期雇用契約終了
日から、契約のない期間が一定以上経過していない場合は任用期間を制限することがある。
試用期間：採用日から6カ月間 (職務内容、労働条件は同じ)

9. 就業時間 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされる。
10. 休日・休暇 国立大学法人お茶の水女子大学職員勤務時間、休暇等に関する規程による。
休日：原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）
ただし、業務の都合上、上記休日を勤務日として勤務することがある。
休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇
11. 給与 年俸制
（年俸額は職務経験や業績等に基づき決定し、年俸額を12月で割った額を毎月支給）
税金及び福利厚生費（雇用保険料、共済組合掛金）の自己負担分を控除する。
12. 手当 国立大学法人お茶の水女子大学職員就業規則第4条第4項の規定に基づき年俸制を適用して
雇用する教員の就業に関する規則第6条に基づき通勤手当、特殊勤務手当、入試業務手当及び
超過勤務手当を支給する。（ただし、通勤距離が2km未満の場合は、通勤手当を支給しない。
また、採用日が月の中途の場合、通勤手当は翌月から支給する。）
13. 退職手当 支給あり
14. 加入保険 労災、雇用保険、文部科学省共済組合に加入する。
15. 雇用主 国立大学法人お茶の水女子大学長
16. 受動喫煙を防止するための措置に関する事項
キャンパス内全面禁煙
17. 提出書類 (1)履歴書（写真貼付、学歴・職歴・受賞歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記の上、押印のこと）
(2)研究業績一覧（著書、論文（審査の有無別）、招待講演、学会発表、その他に分類すること、
また、最終頁に提出日と「以上相違ありません」と記載し、署名押印のこと）
(3)主要な著書、論文等の別刷り又は写し（5点以内、業績一覧中に○印を付すこと）
(4)女子大学である本学の教員として勤務することへの抱負、グローバル女性リーダーの育成
についての抱負（合わせて1,000字程度）
(5)本学で行おうとするリベラルアーツ及び専門教育についての考え方と、これまでの教育実
績（合わせて2,000字程度）
(6)これまでの研究概要及び着任後の研究計画（合わせて2,000字程度）
(7)これまでの研究費獲得状況
(8)学位記の写し又は修了証明書若しくは学位授与証明書
(9)2名の方からの推薦状又は応募者について所見を求め得る方2名の氏名及び連絡先
(10)返信用葉書（書類受理通知用、宛先明記、切手等貼付のこと）
なお、(3)、(8)、(9)及び(10)以外は、書式を原則A4判に統一すること。
海外在住者の場合は(10)を除く。
18. 選考方法 (1)第1次選考 書類審査
(2)第2次選考 第1次選考合格者に対してのみ面接審査（2022年9月を予定）
実施日時等は、第1次選考合格者に、第1次選考結果と併せて通知します。
なお、面接等に係る旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。
最終的な選考結果は、本人宛に郵送にて通知いたします。
19. 提出期限 2022年7月25日（月） 午後4時 必着
20. 提出方法 封筒表面に「異文化間教育学 教員応募書類在中」と朱記し、提出書類一式を書留又は簡易
書留で郵送（宅配便も可）のこと。
※ 海外在住者に限り、電子メール添付による提出を認めます。
件名を「異文化間教育学 教員応募」とし、電子ファイル（推薦状を除く全ての書類を1つ
のPDFにまとめること及びパスワードを設定すること）を添付すること（ファイル容量25MB
まで）。なお、パスワードは別途メールで通知すること。推薦状については、推薦者が署名し
たもの（押印不可）を、PDF電子ファイルにし、直接本学宛にメール添付（件名に応募者氏
名を明記）で提出するよう推薦者に依頼すること。なお、PDFファイルによる提出が困難な

著書等については、「異文化間教育学 教員応募書類在中」と朱記し、書留又は簡易書留で郵送（宅配便も可）のこと。

21. 提出先 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
国立大学法人お茶の水女子大学長 佐々木 泰子 宛
※ 電子メール送信先：お茶の水女子大学学務課（ファカルティ支援担当）
E-mail：faculty-jinbun@cc.ocha.ac.jp
電子メールで書類を提出した後、3日間以上受信確認の返信がない場合はその旨お知らせください。
22. 問合せ先 お茶の水女子大学基幹研究院人文科学系准教授 本林 響子
Tel：03-5978- FAX：03-5978-5255
E-mail：motobayashi.kyoko@ocha.ac.jp
お問い合わせは、原則、電子メールでお願いいたします。

【備考】

応募書類は、本公募の用途に限り使用し、提出いただいた個人情報には正当な理由なしに第三者へ提供することはありません。

なお、応募書類は返却いたしません。選考終了後、大学が責任を持って廃棄しますので御了承下さい。ただし、応募書類の返却を希望する場合は、必ず、返送用封筒（切手等貼付、返送宛先明記）を同封して下さい。

本学は、次世代育成支援対策推進法（第13条）に基づく基準適合一般事業主（子育てサポート企業）として、厚生労働大臣の認定を受けています。「くるみんマーク」は、認定の証です。



「くるみんマーク」